

はだかの王様 ハンス・クリスチャン・アンデルセン作

“I am ready,” said the emperor. “(*1) Does not my suit fit me marvelously?” Then he turned once more to the looking-glass, that people should think he admired his garments.

The chamberlains, who were to carry the train, stretched their hands to the ground as if they lifted up a train, and pretended to hold something in their hands; they did not like people to know that they could not see anything.

The emperor marched in the procession under the beautiful canopy, and all who saw him in the street and out of the windows exclaimed: “Indeed, the emperor’s new suit is incomparable! (*2) What a long train he has! How well it fits him!” Nobody wished to let others know he saw nothing, for then he would have been unfit for his office or too stupid. Never emperor’s clothes were more admired.

高校入試に役立つ文法解説

*1 否定疑問文とその答え方

否定文の動詞を前へ持ってきて疑問形にしたものを否定疑問文といいます。答え方には注意が必要です。後ろの文章が肯定文の場合はYesで、否定文の場合はNoで答えます。

Isn't he busy now? (彼は今いそがしくないのですか?)

— Yes, he is. (いいえ、いそがしいです) — No, he isn't. (はい、いそがしくありません)

*2 感嘆文

WhatやHowで始まり感嘆符で終わる文で、「なんて〜だろう!」と驚きや感動を表すものを感嘆文といいます。

What a fast runner he is! (彼はなんて速いランナーなのだろう!)

※主語と動詞を省略した形→ How nice! (なんてステキなの!)

* 読解のヒント *

- marvelously すばらしく、見事に
- garment 衣装
- chamberlain めし使い、きやうてい宮廷の高官
- train すそ
- procession 行列
- canopy しんたい天がい(王座や寝台の上をおおうもの)
- incomparable 比類のない、ずば抜けた等の意

日本語訳はP7に掲載しています。



英語で読む 童話の世界



開塾タイムス6月号

2013.6.1発行

CONTENTS

- 02 特集① 英語で読む童話の世界
- 10 特集② 身につく日本史～原始・古代編～
- 18 わたしの勉学時代～徳島大学 香川征学長～
- 22 わくわく全国学び体験ガイド…第28回 日本の美を知る編～日本の美と技に触れよう
- 24 研究最前線…第40回 拡張満腹感
- 26 役立ち 大学情報…第4回 大学院ってどんなところ?
- 28 newsウォッチャー…第16回 インフレとデフレ
- 29 親子で作ろう! ひといきレシピ
- 30 12星座占い
- 32 クロスワードクイズ
- 34 パチパチ★開塾 成績優秀者発表
- 38 連載漫画 クロニクルロック!
- 44 Illustration gallery



サクラちゃん

今月の歴史舞台

アンコール・ワット建立
カンボジア王国/12世紀前半

アンコール・ワットは、12世紀前半にクメール王朝(アンコール王朝)の王によって建立された。ヒンドゥー教の寺院で、建立に30年以上が費やされたという。美しい彫刻が施されてクメール建築の傑作と言われている。アンコール王朝は9世紀から15世紀まで存在していた東南アジアの王国で、現在のカンボジアの元となった。12世紀にはタイ中部やマレー半島、ベトナム南部にまで勢力を拡大している。



上空から見たアンコール・ワット

カンボジア王国
Kingdom of Cambodia



英語の長文読解が苦手、勉強を後回しにしてしまう。そんな人は多いのではないのでしょうか。英文も日本の文章も、まずは見慣れることが必要です。

今回は、皆さんのよく知る童話から、『はだかの王様』『白雪姫』『ジャックと豆の木』を英文で紹介いたします。日本語訳も掲載していますが、それを読む前に、まずは辞書を引きながら訳してみてください。読解のヒント、高校受験に役立つ文法も紹介していますので、ぜひ活用してくださいね!

ジャックと豆の木

ジョセフ・ジェーコブス作

Jack ran as fast as he could, and the ogre came rushing after, and would soon have caught him only Jack had a start and dodged him a bit and knew where he was going.

When he got to the beanstalk the ogre was not more than twenty yards away, (*1) when suddenly he saw Jack disappear, and when he came to the end of the road he saw Jack underneath climbing down for dear life. Well, the ogre didn't like trusting himself to such a ladder, and he stood and waited, so Jack got another start. But just then the harp cried out "Master! Master!" and the ogre swung himself down onto the beanstalk, which shook with his weight. Down climbed Jack, and after him climbed the ogre. Jack had already climbed down very nearly home. So he called out: "Mother! Mother! Bring me an axe, bring me an axe." And his mother came rushing out with the axe in her hand, but when she came to the beanstalk she stood stock still with fright for there she saw the ogre with his legs just through the clouds.

高校入試に役立つ文法解説

*1 従属接続詞

when (する時)やbecause (なぜなら～だから)などを従属接続詞といいます。文の中にあって、直後に「主語+述語」がきます。

Emi was watching TV when Kenji got back. (ケンジが帰ってきた時、エミはテレビを見ていた)

I am thirsty because the soup was salty. (スープが塩からかったので、のどがかわいている)

この他にも、before (する前に)、by the time (するまでには)、since (してからずっと)、as soon as (するやいなや)などが従属接続詞です。



* 読解のヒント *

- ogre 人喰い鬼
- dodge すばやく身をかわす
- beanstalk 豆のつる
- yard 長さの単位 ※1ヤード=0.9144m
- underneath ～の真下に
- ladder はしご
- axe (またはax) 斧
- stand stock still 棒立ちになる、足がすくむ

日本語訳はP7に掲載しています。

白雪姫

グリム童話

It happened, however, that a king's son came into the forest, and went to the dwarfs' house to spend the night. He saw the coffin on the mountain, and the beautiful snow-white within it, and read (*1) what was written upon it in golden letters. Then he said to the dwarfs, let me have the coffin, I will give you whatever you want for it. But the dwarfs answered, we will not part with it for all the gold in the world. Then he said, let me have it as a gift, for I cannot live without seeing snow-white. I will honor and prize her as my dearest possession. As he spoke in this way the good dwarfs took pity upon him, and gave him the coffin.

And now the king's son had it carried away by his servants on their shoulders. And it happened that they stumbled over a tree-stump, and with the shock the poisonous piece of apple which snow-white had bitten off came out of her throat. And before long she opened her eyes. The king's son, full of joy, said, you are with me.

高校入試に役立つ文法解説

*1 受動態

「be動詞+過去分詞」で表し、「～される、～されている」と訳すものを受動態といいます。「だれによって(行為者)」を表す場合は、後ろに「by+(人)」を置きましょう。

(能動態) Ben wrote this story two years ago. (ベンはこの小説を2年前に書いた)

(受動態) This story was written by Ben two years ago. (この小説は2年前ベンによって書かれた)

このように、能動態の文が主語+動詞+目的語の時、受動態は目的語を主語にして文頭に出します。過去分詞については必ず復習しておきましょう。



* 読解のヒント *

- dwarf こびと、ふつうより小さな動植物
- coffin 棺桶
- dearest possession 最愛の財産
- take pity かわいそうになる、同情する
- servant めし使い
- stumble over (～に)つまづく
- a tree-stump 木の切り株

日本語訳はP7に掲載しています。

日本語訳

はだかの王様

「準備ができたぞ」と王様は言いました。「この新しい服は、すばらしく私に似合っているだろう？」それから、もう一度、鏡の前でくると回って見せました。だって、皆は、王様が自分の衣装に感心していると思っているのに違いないのですから。

行列のお供をするめし使いは、両手を地面に伸ばし、すそを持ち上げ、手に抱えているふりをしなければならぬのですから。実は何も見えていないなんて、だれにも知られたくありません。

王様は、美しい天がいの下で行列に加わり、行進をしました。そして、通りや窓から王様を見た人々は、皆「ほんとうに、王様の新しい服は他にないほどすばらしいなあ！ あのですその長さといったら！ とってもお似合いだこと！」と叫びました。だれ一人として、実は何も見えていないなんて他の人に知られたくありませんでした。（王様の服が見えないから）自分にふさわしくない仕事をしているとか、ばかだとか知られたくなかったのです。これほどまでに賞賛された王様の服は、今までありませんでした。

白雪姫

けれどもある時、王子様が森へやって来て、こびとたちの家に泊まりました。王子様は山の上で棺桶と、その中に眠る美しい白雪姫を見て、棺桶に書かれた金色の文字を読みました。そこで王子様は、こびとたちに言いました。「ぼくはあの棺桶がほしい。ほしいものなら何でもあげるから」ですが、こびとたちは答えました。「ぼくたちは、世界中の金をもらったって手放しません」そこで王子様は言いました。「ならば姫を贈り物として、ぼくにしてくれないか。もう白雪姫を見ていなければ、ぼくは生きていけないんだ。ぼくの最愛の財産として、尊敬して大切にすることから」このように言われてしまうと、人のいいこびとたちは、王子様のことがかわいそうになって、棺桶をあげてしまいました。

こうして王子様は、めし使いたちに担がせて棺桶を運んで行ってしまいました。するとその時、めし使いが木の切り株につまずき、その拍子に白雪姫ののどから毒りんごのかけらが出てきました。それからまもなくして、白雪姫は目を開いたのです。王子様は大喜びで言いました。「（これから）ぼくと一緒だよ」

ジャックと豆の木

ジャックはせいっぱい速く走りました。人食い鬼は走って追いかけて、すぐにでも捕まえようとするのを、ジャックは、ぎりぎりのところですばやく身をかわして、あっという間に走っていきます。

ジャックが豆の木にたどり着いた時、鬼とは20ヤードも離れていませんでしたが、その時ジャックが突然消えてしまったように見えました。鬼が道の終わりまで行ってみると、真下にジャックが必死に木を下りて行くのが見えるではありませんか。さて、人食い鬼は、このようなはしごは気が進みませんでしたから、立ち止まっていると、ジャックはどんどん下りていきます。しかし、ちょうどその時、豎琴が「ご主人様！ ご主人様！」と叫んだので、鬼も豆の木を下りて行き、豆の木は鬼の重みで揺れました。ジャックが下りて行き、鬼も下りて行きました。ジャックはもう家のそばまで下りてきました。そこでジャックは叫びました、「お母さん！ お母さん！ 斧を持ってきて、斧を持ってきてよ」それで、お母さんは斧を手に持ち、豆の木のところまで駆け寄ってきたのですが、鬼の足が雲から出ているのを見て、怖がって足がすくんでしまいました。

作者紹介

ハンス・クリスチャン・アンデルセン



アンデルセンは、デンマーク王立バレエ団のバレエ学校にも通っていた時期があったそうです。

デンマークを代表する童話作家、詩人のアンデルセン(1805～1875年)が遺した作品は、多くが日本でもよく親しまれています。「マッチ売りの少女」、「みにくいアヒルの子」、「人魚姫」、「親指姫」も彼の手によるものです。

アンデルセンは靴屋の家に生まれました。15歳の時、学校を中退してオペラ歌手になろうとしましたが、その夢は断念。大学では哲学と文献学を学んだそうです。

今回紹介した「はだかの王様」は、1837年に発表されました。新しい服が大好きな王様のところに二人の詐欺師がやって来ます。詐欺師たちは「ばかや、自分にふさわしくない仕事をしている者には見えない、不思議な布で服を作りましょう」と王様に言います。大喜びで注文した王様ですが、仕上がった服が見えません。当然です、そんな不思議な布、あるわけがないのですから。でも、ばかだと思われたくない王様は、服を着ているふりをしてパレードに出ていきます。アンデルセンの代表作の一つです。

グリム童話 (グリム兄弟)



ドイツのハーナウ(グリム兄弟の生まれ故郷)にある兄弟の銅像。

『グリム童話』は、19世紀に活躍したドイツの民話収集家、文学者、言語学者、文献学者であるグリム兄弟によって編集されました。長男のヤーコプ・グリム(1785～1863年)は法制史研究でも名を残しています。次男のヴィルヘルム・グリム(1786～1859年)は、『グリム童話』の2版目以降の改訂をほぼ一人でこなしました。グリム兄弟といえばこの二人ですが、実は美術学校で教授をしていた末弟のルートヴィヒ・グリム(1790～1863年)も、『グリム童話』の挿絵を描いて兄たちに協力していました。

『グリム童話』の正式なタイトルは、『子どもたちと家庭の童話』です。今回紹介した「白雪姫」の他にも、「赤ずきん」や「ヘンゼルとグレーテル」などの話が収録されています。

絵本では、「白雪姫は王子様と結婚して、幸せに暮らしました」で話が終わる場合がほとんどです。ですが『グリム童話』では、白雪姫を毒りんごで殺そうとした女王様は、白雪姫と王子様の結婚式で、火にくべて真っ赤になった鉄の靴をはかされ、死ぬまで踊り続けたという怖いシーンで終わっています。

ジョゼフ・ジェーコブス



イギリスのロンドンにある大英博物館。世界最大級の博物館の一つです。

ジョゼフ・ジェーコブス(1854～1916年)は、オーストラリア出身の民話研究者です。「ジャックと豆の木」は、もともとイギリスに伝わる童話でした。ジェーコブスは、この物語を、大英博物館に所蔵されていたアングロ・サクソン(現在のオランダ付近よりグレートブリテン島に侵入したゲルマン系民族)の民話をもとに子ども向けにわかりやすく書き直し、1890年に出版された43話の『イングランド民話集』に収めました。

今回紹介した「ジャックと豆の木」は、少年ジャックが母に頼まれて牛を売りに行く途中で男に会い、牛と豆を交換する話から始まります。豆と交換したことに怒った母親は豆を庭に捨ててしましますが、それが一晩のうちに天まで届く巨木に成長してしまうのです。豆の木を登ったジャックは、人食い鬼の家を見つけ、金の卵を産む鶏や、歌う豎琴などを盗みます。家まで逃げ帰ったジャックは豆の木を斧で切り、追いかけて来た鬼は落ちて死んでしまうというストーリーです。絵本でもおなじみですね。